

2025

SUPER FORMULA LIGHTS
RACE REPORT

Rd.1-2-3	SUZUKA CIRCUIT	》》》》》》》》	MAR 08-09
Rd.4-5-6	AUTOPOLIS	》》》》》》》》	MAY 17-18
Rd.7-8-9	OKAYAMA	》》》》》》》》	JUN 21-22
Rd.10-11-12	Sportsland SUGO	》》》》》》》》	AUG 30-31
Rd.13-14-15	FUJI SPEEDWAY	》》》》》》》》	SEP 06-07
Rd.16-17-18	MOBILITY RESORT MOTEGI	》》》》》》》》	NOV 29-30

OKAYAMA

INTERNATIONAL CIRCUIT



TOM'S

Rd.7-9 OKAYAMA 6.21 [sat] - 22 [sun]

circuit 岡山国際サーキット（岡山県美作市）

weather sat 曇り sun 曇り

spectators 発表なし



2025年全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権のRound7・8・9が6月21日（土）・6月22日（日）に岡山国際サーキットで行われた。気温30℃を上回る暑さのなか、各ラウンドで表彰台を獲得する走りを披露。なかでも小林利徠斗は3戦連続で表彰台を記録したほか、参戦2大会目となるエステバン・マッソンはRound8で2位を獲得した。ランキング首位の佐野雄城は予選で後方に下がったことが響き、Round7・8の5位が最高順位に。古谷悠河は金曜日の走行で上位につけるも、その流れを活かしきれず各戦とも8位で終えた。

モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

35 YUKI SANO
Driver 佐野 雄城

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選	7位	6位	5位
決勝	5位	5位	7位

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選タイム	P7/1'22.784	P6/1'22.541	グリッドは第7戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P5/1'24.265	P5/1'24.596	P7/1'25.312

PONOS Racing TOM'S TGR-DC SFL

36 ESTEBAN MASSON
Driver エステバン・マッソン

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選	5位	3位	7位
決勝	7位	2位	5位

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選タイム	P5/1'22.567	P3/1'22.438	グリッドは第7戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P7/1'24.615	P2/1'24.337	P5/1'25.289

Deloitte. HTP TOM'S 320

37 YUGA FURUTANI
Driver 古谷 悠河

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選	9位	8位	8位
決勝	8位	8位	8位

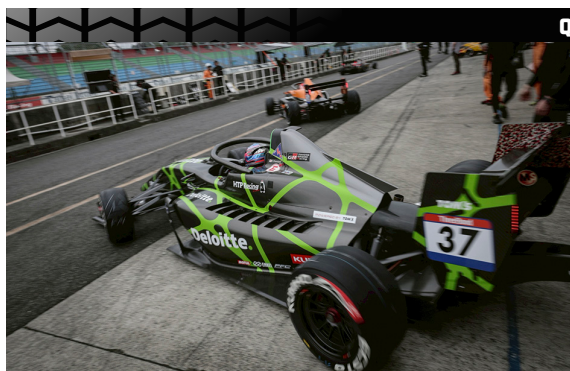
	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選タイム	P9/1'22.868	P8/1'22.808	グリッドは第7戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P8/1'24.647	P8/1'25.121	P8/1'25.259

モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

38 RIKUTO KOBAYASHI
Driver 小林 利徠斗

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選	4位	4位	2位
決勝	2位	3位	2位

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選タイム	P4/1'22.552	P4/1'22.448	グリッドは第7戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P2/1'24.393	P3/1'24.653	P2/1'24.908



QUALIFYING

ライバルの先行を許すも、岡山初挑戦となるマッソンが、予選2回目で3位に食い込む。

岡山国際サーキットを舞台に開催された今季3大会目は、金曜日から気温が35℃に迫る暑さとなったが21日(土)の予選は曇り空となり、前日と比べて気温と路面温度が下がったなかでセッションが始まった。第7戦のスタートグリッドを決める予選1回目では、2番手から6番手までが0.2秒以内にひしめく接戦になったが、最終的にライバルの先行を許すことに。TOM'Sでは小林の4番手が最上位となり、岡山初経験となるマッソンが5番手に続いた。ランキング首位の佐野は思うようにタイムを上げられず7番手に終わり、前日の練習走行では好調だった古谷も、9番手に留まる結果となった。続く予選2回目では、マッソンが最終アタックで3番手に入り今季ベストグリッドを獲得。小林が4番手、佐野が6番手に続いた。古谷も挽回を目指してタイム更新を狙ったが、僅差でライバルの前に出ることは叶わず、8番手から決勝レースでの巻き返しを誓う。



35

マシンバランスは悪くありませんでしたが、タイムが思うように伸びませんでした。

ドライバー 佐野 雄城

金曜日は路面温度が高かったなかで、マシンバランスは悪くありませんでした。ただ、予選に関してはコンディションが変わって、周りのみんながタイムをあげていくなか、僕は思ったほど上がりきりませんでした。決勝に向けて色々見直して頑張ります。



36

金曜日から土曜日にかけてうまくアジャストできた。

ドライバー エステバン・マッソン

予選に関しては全体的にハッピーな結果になったと思うし、オートボリス大会より進歩できている。僕としては学ばなければいけないところがたくさんあるが、ステップは踏めていると思う。ライバルと比べるとペースが足りていないが、好結果を狙える位置を獲得できた。

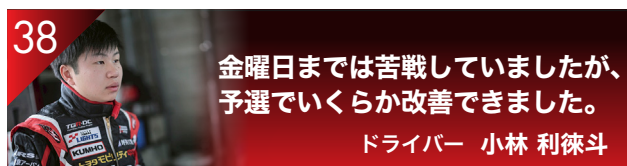


37

今週末はライバルと比べて足りないところがありました。

ドライバー 古谷 悠河

金曜日の段階では、マシンバランスがすごく良いわけではなかったのですが上位につけられる感じでした。予選でコンディションが変わったなかで、タイム自体は上がっているのですが、上がり幅が周り比べて少なかったです。



38

金曜日までは苦戦していましたが、予選でいくらか改善できました。

ドライバー 小林 利侑斗

金曜日からコンディションが変わった予選では、うまく合わせることができたと思います。ただ、トップに対して差がある状況なので、そこは改善していく必要があります。前回うまくいかなかったスタートを今回は改善したいです。



チーム監督 山田 淳

夏場への対応は懸念していましたが、その通りの予選結果になりました。

金曜日の練習走行までは全体的に路面温度が高い夏場のコンディションで、少し攻めすぎているところが多い印象でした。そのデータを踏まえて予選に臨みましたが、コンディションが大きく変わったことで、そこに合わせきれなかったところが大きかったです。

Rd.7 天候：晴れ／気温：31℃／路面温度：45℃ Rd.8 天候：晴れ／気温：31℃／路面温度：44℃

Rd.9 天候：晴れ／気温：31℃／路面温度：45℃

RACE

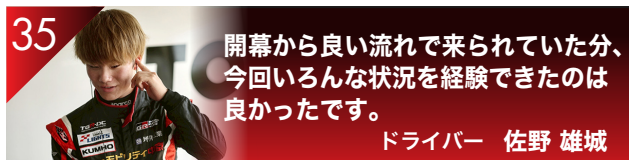


**小林がトップを脅かす走りで、
2レースで2位表彰台を記録。
マッソンも自己最高位を獲得。**

21日(土)のRound7では、スタートでポジションをあげた小林が終盤にライバルを抜いて2位表彰台を獲得。佐野も2つ順位を上げて5位入賞を果たし、マッソンが7位、古谷が8位で続いた。

22日(日)9時55分から始まったRound8(18周)は、温存していた新品タイヤを投入したマッソンが、3番グリッドから好スタートで2番手に浮上。トップ逆転は叶わなかったが、自己最高位となる2位を手にした。小林も4番グリッドから順位を上げて3位表彰台。佐野も表彰台争いに絡む走りを見せて5位となり、古谷は8位で終えた。

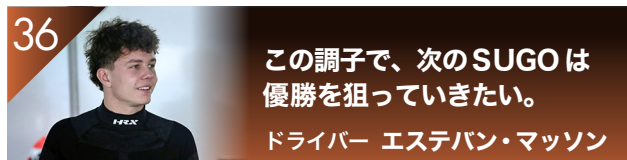
Round7決勝の結果順でグリッドが決まったRound9は、2位を獲った小林がトップとの差がつくも、2位表彰台を獲得。マッソンはセーフティカー解除直後のタイミングを狙って追い抜き、5位入賞を果たした。佐野はスタートで順位を下げたことが響いて7位でフィニッシュ。古谷も上位進出を目指して奮闘したが、8位でレースを終えた。



**開幕から良い流れで来られていた分、
今回いろんな状況を経験できたのは
良かったです。**

ドライバー 佐野 雄城

どこまで挽回できるかというなかで、1レース目で5位に入れたのは内容的に良かったです。2レース目はレース中になかなか抜けなかったのが、それを踏まえて3レース目ではスタートに賭けたのですが、ホイールスピンをして順位を下げる結果になりました。



**この調子で、次のSUGOは
優勝を狙っていきたい。**

ドライバー エステバン・マッソン

1レース目はタイヤを温存したことで苦しんだけど、2レース目で2位になることができた。このシリーズで勝つことは簡単なことではないけど、岡山大会を通してクルマやタイヤ、チームのことをより理解して前進できたのが良かった。



**次戦のSUGOでは、上位で
戦えるようにしたいです。**

ドライバー 古谷 悠河

1レース目と2レース目に関しては、今週末抱えていたオーバーステアの状態に悩まされました。3レース目に関しては改善ができて、手応えが良くなったなかで走ることができていましたが、順位が良いわけではないので悔しいです。



**スタートから狙っていましたが、
前に出られませんでした。**

ドライバー 小林 利徳斗

最初の2位表彰台は良かったです。3レースともにライバルと比べてペースが足りない部分があると感じた週末でした。これまで各サーキットで共通の問題があるので、そこを見直して次はトップで争えるように頑張りたいです。



チーム監督 山田 淳

次戦に向けては予選タイムの向上が必要だと感じています。

昨年と比べてライバルチームとの差は縮まったかと思います。あとは予選同様に夏場でのタイヤの使い方についてしっかり振り返って、クルマに関しても予選タイムを中心に見直しが必要だと感じています。

TOM'S



Deloitte. **PONOS** **トヨタモビリティ中京** **KUO GROUP**



坪井工業



損保ジャパン

東京アーバンコンサルティング

広島トヨペット
HIROSHIMA TOYOPET TECHNICA

HTP Racing

バンテリン

ヴェルディ

LAC

トヨタカローラ静岡

EDIFICE
CASIO

S&D
TAMA GROUP

GR TOYOTA GAZOO racing

TGR-DC
TGR Driver Challenge Program

TGR-D

MOTUL

ENKEI

ThreeBond

PFC
HAKKO

KUMHO